

授業科目	保育者論				単位	2				
履 修	選択	関連資格	保育士			ナンバリング	WE11604J			
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-2					
担当教員	文屋 典子									
授業概要	<p>社会の変化と多様なニーズに伴い、保育者に期待される役割は変化しつつある。また、より高い専門性が求められている。保育者はどのようなまなざしで子どもを捉え、向き合うのか。保育者としてあるべき姿とはどのようなものか。子どもの育ちと保護者の子育てを支える保育者として、求められる専門性とは何か。求められる保育者像について考察し、保育士として習得すべき専門的知識・技術と専門職としての姿勢や態度を養うことの必要性について理解する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割、職務内容と制度的位置づけを理解する。</li> <li>2. 保育士の専門性について考察し、理解する。</li> <li>3. 保育士に求められる専門的倫理について理解する</li> <li>4. 保護者や地域社会、専門機関との連携・協働について理解する。</li> <li>5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</li> </ol>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	80	20	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)	0		40	10			50			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)			40	10			50			
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
<p>標準的なレベルに加え、保育士の専門性を支える知識・技術の習得に意欲的に取り組むことができている。めざすべき保育者像について考察を深めつつ、自己の専門的成長に関心を払っている。</p>					<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割、職務内容と制度的位置づけを理解する。</li> <li>2. 保育士の専門性について考察し、理解する。</li> <li>3. 保育士に求められる専門的倫理について理解する</li> <li>4. 保護者や地域社会、専門機関との連携・協働について理解する。</li> <li>5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</li> </ol>					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ: 保育者とは 授業の進め方についてのオリエンテーションを行い、保育士の役割、児童福祉法における保育士の定義、保育士資格と信用失墜行為及び守秘義務遵守について解説する	講義	保育士の役割と法的基盤について理解する	60分
2	テーマ: 保育するということ 保育所における保育士の職務内容、かかわりの中で子どもを理解し、子どもの主体性を支えることについて解説する	講義	かかわりの中で子どもを理解し、子どもの主体性を支えることについて考察する	60分
3	テーマ: 遊びの中で子どもを理解すること 子どもの発達と遊び、関係性の中で子どもの姿や出来事を捉える視点について解説する	講義	子どもと遊び、遊びの中で子どもを理解することについて考察を深める	60分
4	テーマ: 生活の中で子どもを理解すること 生活援助としての保育、環境を活かし、はたらきかけ、構成することについて解説する	講義	生活の中で子どもを理解することについて考察する	60分
5	テーマ: 発達の過程を理解し、子どもと関わるということ 子どもが周囲の環境に働きかけながら発達する過程とそれを支える保育士に求められる資質・能力について解説する	講義	発達の過程を理解し、子どもと関わるということ、そのために保育士に求められることは何か、考察を深める	60分
6	テーマ: 子どもの成長を支えるということ 子ども一人ひとりの発達を把握し、子どもの実態に応じた保育を実践するための技術について解説する	講義と保育技術の実践	子どもの実態に応じた保育を実践するための保育技術について調べ、習得に取り組む	90分
7	テーマ: 養護と教育の一体的展開と保育士の専門性 保育における「養護」と「教育」について解説し、養護と教育をめぐる現代的課題と一体的展開について解説する	講義	養護と教育の一体的展開と保育士の専門性について考察を深める	60分
8	テーマ: 計画に基づく保育の実践 保育の計画と柔軟な展開を支える子ども理解、保育の全体的な計画、計画・実践・省察・評価・改善(保育の質の向上)という保育のプロセスについて解説する	講義	計画に基づく保育の実践について理解する	60分
9	テーマ: 子どもの興味・関心を引き出す保育活動の計画と実践	演習: 保育技術の実践	演習をふりかえり、保育技術のスキルアップと新たなものの習得に取り組む	60分
10	テーマ: 保育の実践と省察・評価 記録と省察により、保育活動をふりかえることの意義、記録・省察に取り組むうえで必要となる力について解説し、簡単な演習に取り組む	講義と演習	演習をふりかえり、記録と省察について学んだことを整理する	60分
11	テーマ: 子育て家庭をとりまく社会的状況と保護者支援 子育て家庭をとりまく様々な状況を理解し、保護者とどのように向き合い、支援していくか、保育者に求められる姿勢について解説する	講義	保護者支援の必要性和保育者に求められる姿勢について理解する	60分
12	テーマ: 専門職間連携、地域との連携により子どもの育ちを支えるということ 子どもの育ちを支える専門職と専門機関について、他職種による連携、関係機関・地域社会との連携・協働について解説する	講義	様々な専門職や地域の人びとと連携・協働して子どもの育ちを支えることについて理解する	60分
13	テーマ: 職員間連携により子どもの育ちを支えるということ 保育における職場内の連携・協働のあり方、同僚	講義	連携・協働の必要性、よりよい協働のために一人ひとりに求められることについて考察す	60分

	性、よりよい協働のために一人ひとりに求められることについて解説する		る	
14	テーマ:子どもの育ちをとりまく現代的課題と保育者に求められるもの 子どもの育ちをとりまく社会的現状と保育士に求められる専門性・資質・能力について解説する	講義	子どもの育ちをとりまく現代的課題と保育士に求められるものについて考察を深める	60分
15	テーマ:保育者に求められる専門性 専門的知識・技術・判断、専門的倫理と倫理的ジレンマ、保育士の質の向上とキャリア形成についてこれまでの授業のまとめを行い、保育士に求められる専門性についてグループディスカッションを通して考察を深める	講義とグループディスカッション	15回の授業をふりかえり、レポートを作成する	90分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育を学ぶことに対する関心・意欲があること。 はじめて「保育」について学ぶ科目です。この授業をきっかけに、様々な知識・技術を得る意欲をもってもらいたいと思います。			
テキスト	保育・教育ネオシリーズ「保育者論 ー共生へのまなざしー」 岸井・無藤・柴崎 監修 同文書院 改定「保育所保育指針・解説を読む」 全国保育士会 編 全国社会福祉協議会			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介します 図書館の指定図書コーナーにも足を運んでみてください			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	新聞記事や日々のニュースに興味と関心を持ち、保育をとりまく社会的状況について常に把握できるようにしましょう。保育士の仕事の楽しさを感じ、保育士としてのスキルを身につける意欲を高め、習得に取り組んでもらいたいと思います。
達成度評価に関するコメント	レポートと授業中の発表によって評価します。